

フィリピン大学に人口研究所設置

このほど、フィリピン大学に新設された人口研究所の概要を印刷した小冊子が送られてきたのでその内容を簡単に紹介する。

現在約 3,000 万の総人口を擁し、年々 3%あるいはそれ以上の自然増加率をもって、人口増加をきたしつつあるフィリピンの現下の人口問題の重要性にかんがみ、また既往のたい積として人口調査資料の適切な評価と分析を促進し、その効果的な利用ならびに、人口専門家の養成が急務であるのかんがみ、人口学の修士 (M. A. in Demography) を養成する training program, フィリピンの人口の特性と推移の多方面にわたる分析を主眼とする research program および関係政府機関その他に対する人口問題に関する consultation and advisory services 等を主要目的として、フィリピン大学に人口研究所 The Population Institute, University of the Philippines が設置された。設置の日付については、つまびらかでないが、人口学の修士過程学生のトレーニング・プログラムは1963年9月21日における同大学評議会において承認されたとある。

研究所の幹部職員は、Mercedes B. Concepcion 教授が Acting Director に就任し、Principal Research Associate として William F. Pratt 博士、Research Associate として Elvira M. Pascual 講師があり、Visiting Consultant として米シカゴ大学の Philip M. Hauser 教授が招かれている。

なお、同研究所のあて先はつぎのごとくである。

The Population Institute, University of the Philippines,
P. O. Box 479, Manila, Philippines.

(小林和正記)